

# アクセスポイントファームウェアアップロードマニュアル

## (強制リロード、TFTPによるアップロード)

無線 LAN アクセスポイントのファームウェアのアップロード手順を説明します。

本手順は、下記のような理由によりアクセスポイントの Web 設定画面にアクセスできなくなってしまう場合に行なってください。

- アクセスポイントが正常に起動しない
- Web 設定画面へアクセスしても、アクセスポイントからの応答がない
- Scan Tool でアクセスポイントが検出できず、IP アドレスが分からない 等

Web 設定画面にアクセス可能な場合は、HTTP によるダウンロードを行なってください。

(「ファームウェアアップロードマニュアル(HTTP 編)」参照)

ファームウェアのアップロード後は設定初期化作業を行いますので、現在の設定は全て消去されてしまいます。設定情報はあらかじめメモしておくなどして、ファームウェアをアップロード後に再度設定を行ってください。

また、旧バージョンの設定ファイルは、新しいバージョンのファームウェアでは使用しないでください。

## 1. TFTP サーバのインストールと設定

ファームウェアファイルの転送に使用するアプリケーションソフト「TFTP サーバ」をインストールします。

弊社ホームページの無線 LAN サポートページより、「TFTP サーバ」をダウンロードしてください。

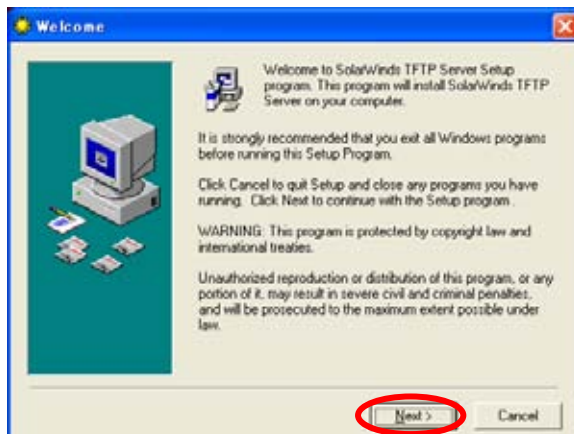
[http://www.necinfrontia.co.jp/products/wlan/jp/\\_Public/download.htm](http://www.necinfrontia.co.jp/products/wlan/jp/_Public/download.htm)

### TFTP サーバインストール方法

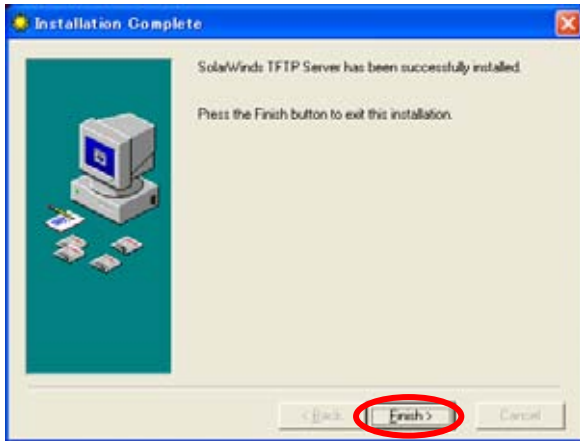


「OEM-TFTP-Server.exe」を起動します。

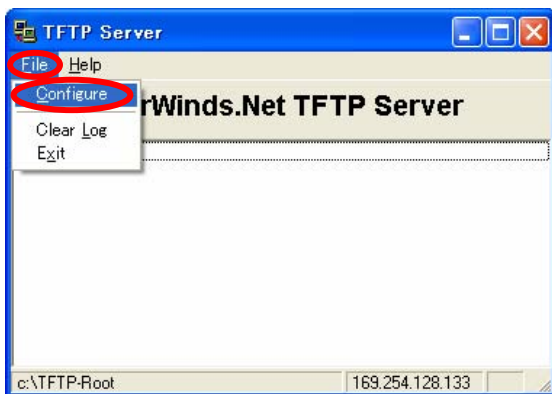
TFTP サーバのインストールが開始されます。



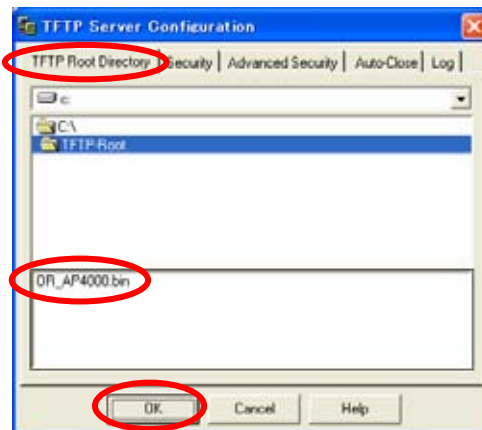
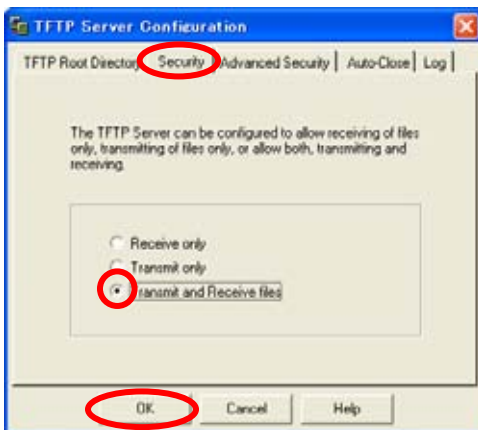
上記画面が表示されたら、「Next」をクリックして次に進み、本ソフトの使用許諾に同意しインストールを進めてください。



上記画面が表示されたらインストール終了です。  
 「Finish」をクリックすると Windows に戻ります。  
 Windows に戻ると TFTP サーバが起動します。  
 メニューバーから「File」-「Configure」とクリックして、設定画面を表示します。



「Security」タブをクリックします。  
 “Transmit and Receive files”のラジオボタンをチェックして「OK」をクリックします。



「TFTP Root Directory」タブをクリックします。  
 アップロードするファームウェアファイルがあるディレクトリを指定します。  
 ファームウェアファイルのある場所を指定しないとアップロードされませんのでご注意ください。  
 下の枠にファイルが表示されるのを確認して「OK」をクリックしてください。  
 以上で TFTP サーバの設定は終了です。

## 2. ファームウェアアップロード

### 【注意】

強制リロードを行うとアクセスポイントのファームウェアは消去されます。  
ファームウェアが消去された状態では動作しませんので、必ずファームウェアを書き込んでください。

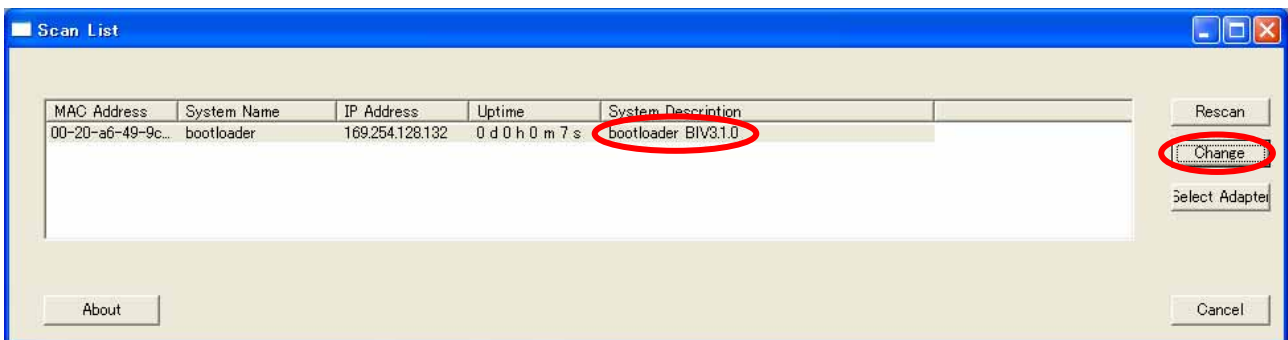
アクセスポイントが起動している状態で(電源 LED 緑点灯)、アクセスポイント本体の“Reset”ボタンをピンなどの先の細いもので1回押してから、すぐに“Reload”ボタンを電源 LED が橙色に点灯するまで約 20 秒間押し続けます。

※Reload ボタンの場所は、ご使用のアクセスポイントのスタートアップガイドをご参照ください。

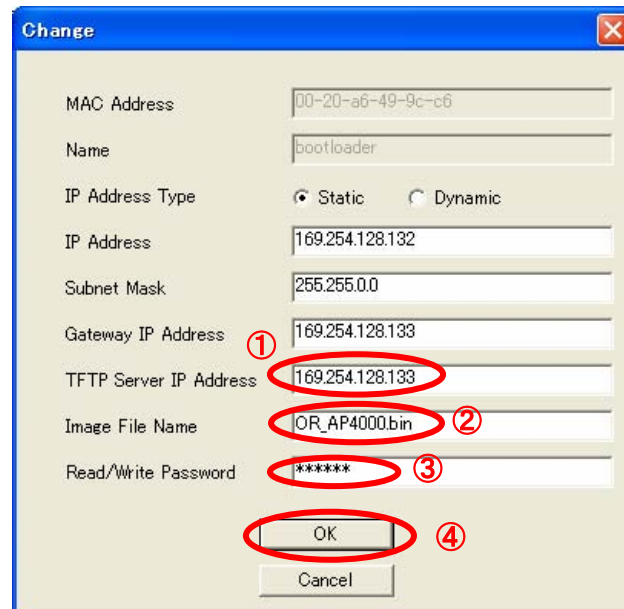
### ■強制リロード後のアクセスポイントの IP アドレスについて

アクセスポイントの上位に DHCP サーバがある場合、IP アドレスを自動取得します。  
DHCP サーバがない場合、数分後に“169.254.128.132”を自動的に割り当てます。  
接続 PC の IP アドレスをアクセスポイントと同一ネットワーク上に設定してください

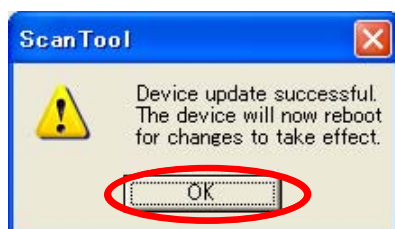
3～5 分後“Scan Tool”を起動して、リストにアクセスポイントが表示されることを確認します。



「System Description」が「boot loader」になっていることを確認し、「Change」ボタンをクリックします。

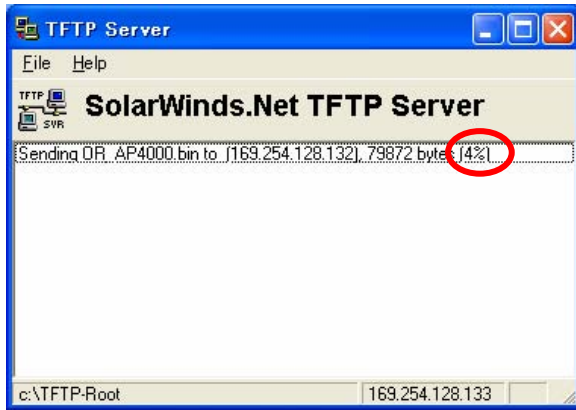


- ① 「TFTP Server IP Address」に TFTP サーバとファームウェアのファイルがある PC の IP アドレスを入力します。
- ② 「Image File Name」にはファームウェアのファイル名を入力します。
- ③ 「Read/Write Password」は初期値の“public”を入力します。
- ④ 各項目の入力が完了したら TFTP サーバが起動していることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。

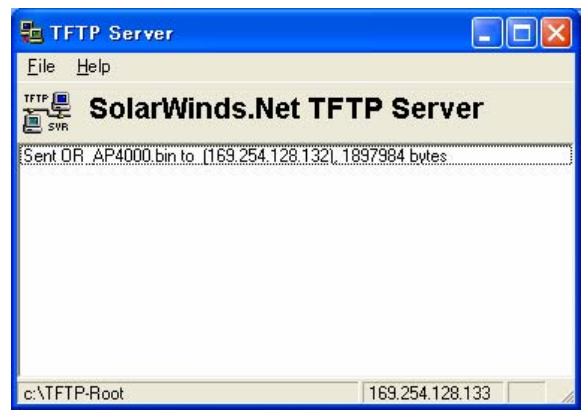


上記ダイアログが表示されたら「OK」ボタンをクリックします。  
アクセスポイントがリブートされ、ファームウェアのアップロードを開始します。

■ファイル転送中



■ファイル転送終了



TFTP サーバを確認するとファイルの転送率が表示されます。

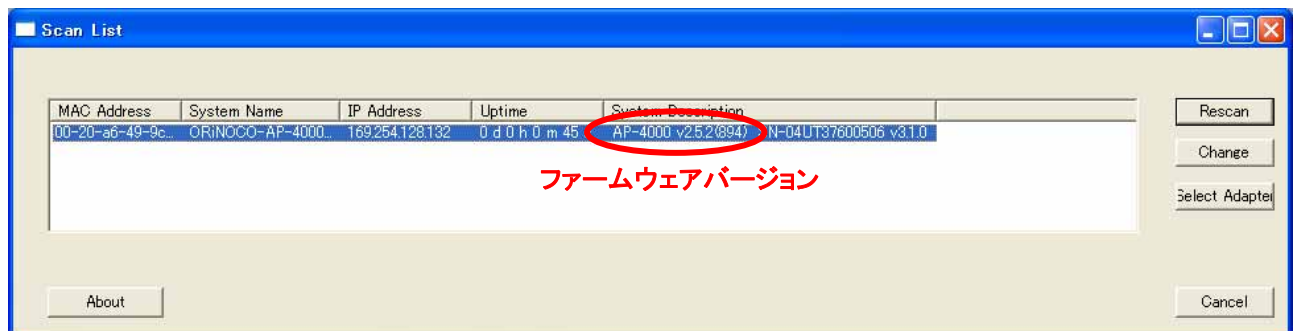
**【注意】**

転送率が[0%]のままであったり、転送失敗の表示(Transmit error)になった場合は、ファイル名や IP アドレスを再確認の上、Scan Tool での設定変更からやり直してください。

転送が終了するとアクセスポイントが自動的にリブートします。

リブート後、電源 LED が緑点灯、有線リンク LED 緑点滅(10Mbps 接続の場合は黄点滅)の状態を確認して、“Scan Tool”を起動します。

※Scan List にアクセスポイントが表示されるまでに、3～5 分かかる場合があります。

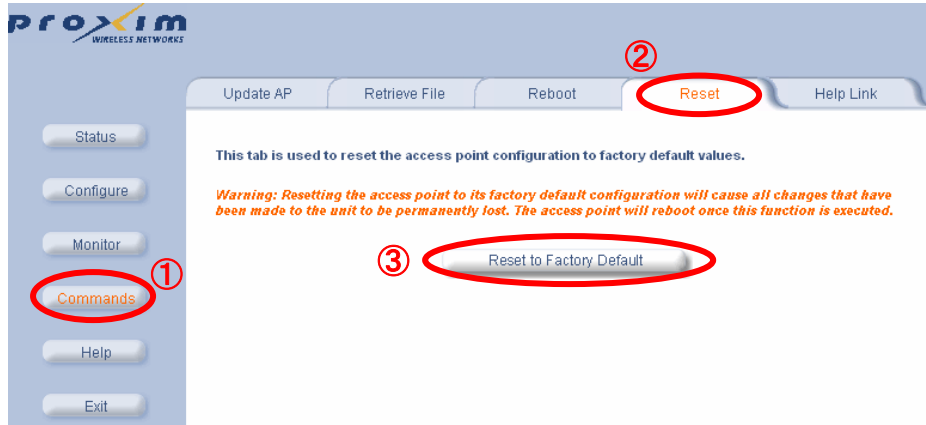


「System Description」に転送したファームウェアのバージョンが表示されていることを確認してください。

### 3. アクセスポイントの初期化 (Factory Default)

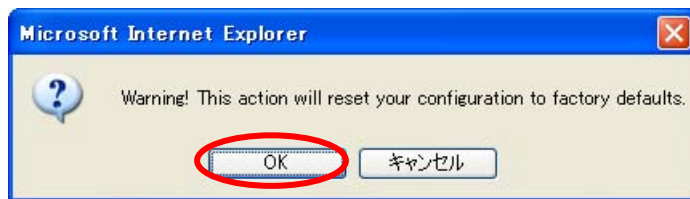
アクセスポイントのファームウェアをアップロードした後は、必ずアクセスポイントの初期化を行ってください。

初期化を行わないとアクセスポイントが正常に動作しなくなる場合があります。



Web 設定画面を開き、左側のメニューから「Command」ボタンをクリックし、「Reset」タブをクリックします。

「Reset to Factory Default」ボタンをクリックし、確認ダイアログが表示されたら「OK」ボタンをクリックします。



しばらくすると初期化が完了して、Web 設定画面が表示できるようになります。

以上でアップロード作業は終了です。  
 Factory Default 後は、設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。  
 ご使用のアクセスポイントのスタートアップガイド、およびユーザーガイドをよく  
 お読みの上、再設定を行ってください。

■ Factory Default 後のアクセスポイントの IP アドレスについて  
 アクセスポイントの上位に DHCP サーバがある場合、IP アドレスを自動取得します。  
 DHCP サーバがない場合、数分後に“169.254.128.132”を自動的に割り当てます。